定　期　作　況　報　告

平成24年6月
（6月20日現在）

北海道立総合研究機構　北見農業試験場

１．気象経過

５月下旬：最高気温は平年よりやや高く、最低気温および平均気温は平年並であった。降水量は平年より少なかった（平年比22%）。日照時間は平年より多かった（平年比154%）。

６月上旬：最高気温は平年並で、最低気温は平年よりやや高く、平均気温は平年並であった。降水量は平年より少なかった（平年比9%）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比137%）。

６月中旬：最高気温は平年より極めて低く、最低気温は平年より低く、平均気温は平年より極めて低かった。降水量は平年より極めて多かった（平年比228%）。日照時間は平年よりやや多かった（平年比125%）。

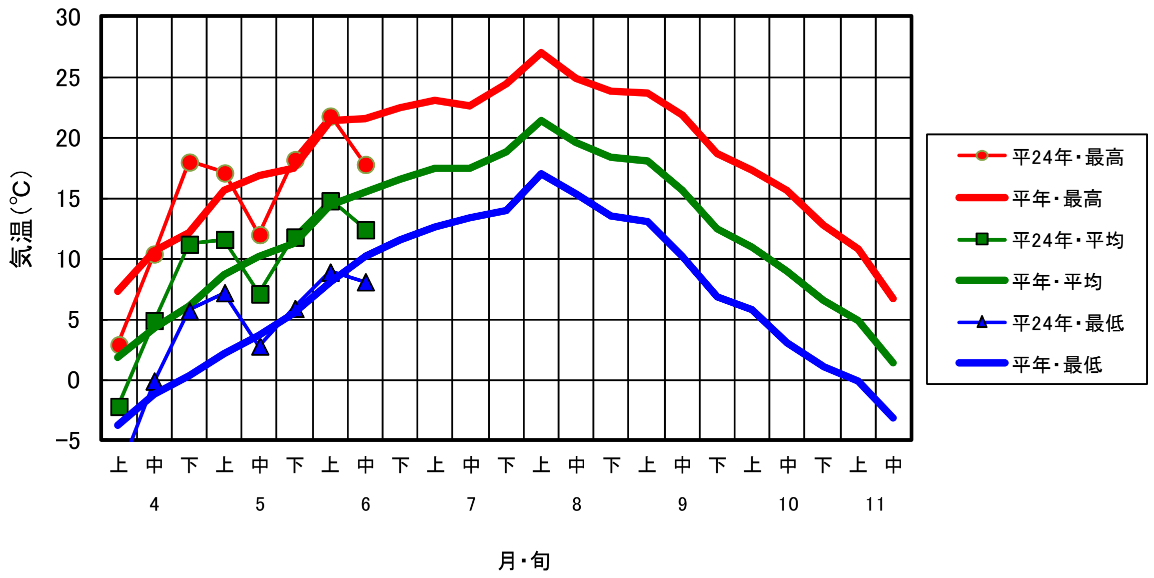
以上のことから、この１か月間（５月下旬～６月中旬）は平年と比較して、気温がやや低く、降水量は平年並で、日照時間はやや多かった。

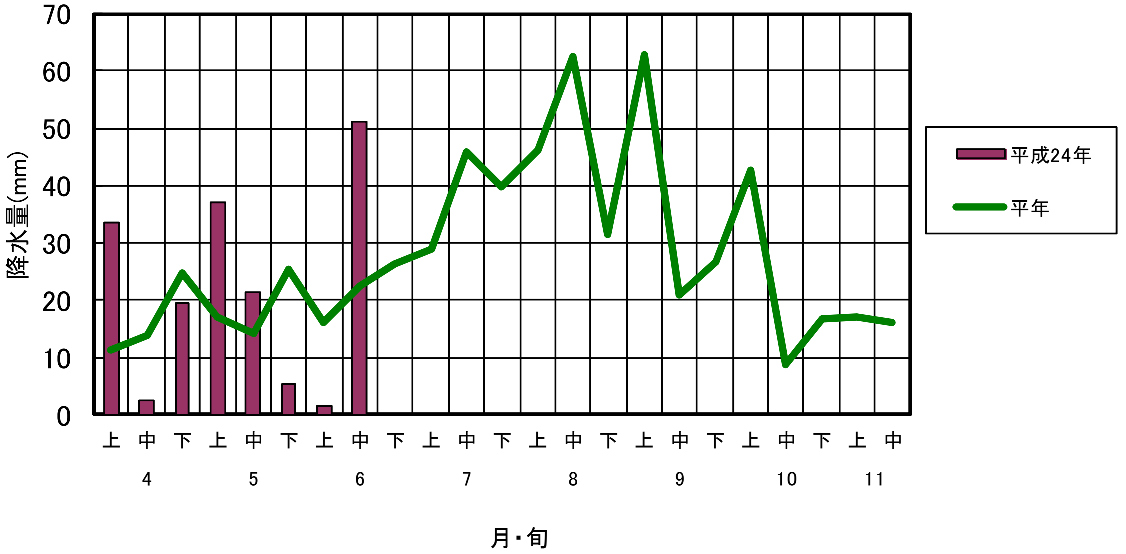
気　象　表

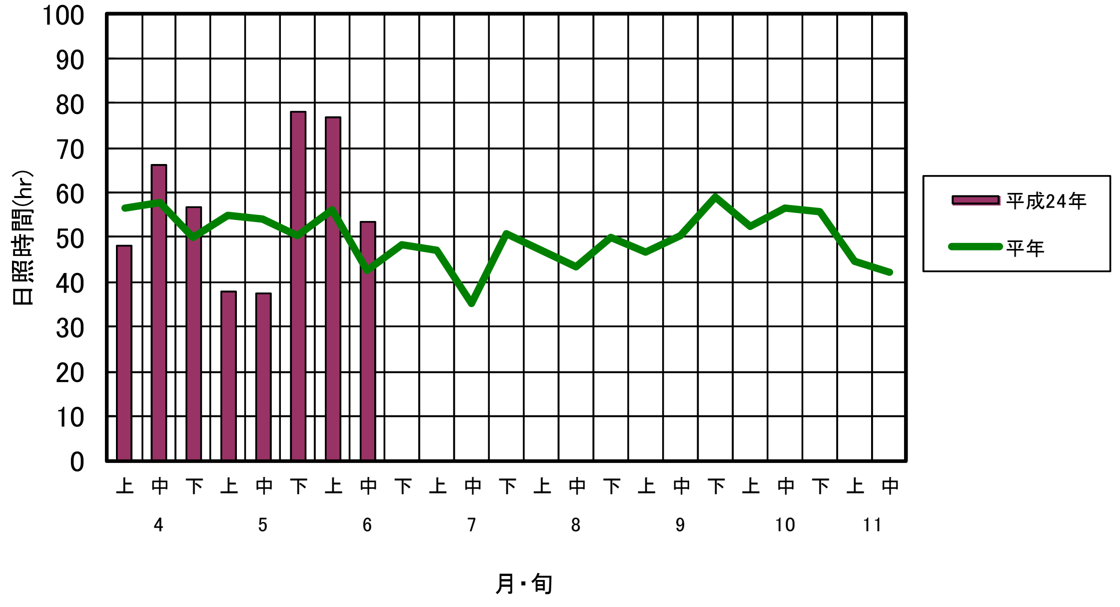
項目 / 月・旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
５月下旬	11.8	11.3	0.5	18.2	17.5	0.7	5.9	5.5	0.4
６月上旬	14.8	14.4	0.4	21.8	21.4	0.4	8.9	8.0	0.9
６月中旬	12.4	15.5	△ 3.1	17.8	21.6	△ 3.8	8.1	10.2	△ 2.1

項目 / 月・旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
５月下旬	5.5	25.5	△ 20.0	78.0	50.5	27.5
６月上旬	1.5	16.1	△ 14.6	77.0	56.2	20.8
６月中旬	51.0	22.4	28.6	53.3	42.6	10.7

注）観測値は、置戸町境野のアメダスデータである。
　　平年値は前10か年間の平均である。


30
25
20
15
10
5
0
-5
気温(℃)
上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中
4 5 6 7 8 9 10 11
月・旬
平24年・最高
平年・最高
平24年・平均
平年・平均
平24年・最低
平年・最低


70
60
50
40
30
20
10
0
降水量(mm)
上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中
4 5 6 7 8 9 10 11
月・旬
平成24年
平年


100
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
日照時間(hr)
上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中 下 上 中
4 5 6 7 8 9 10 11
月・旬
平成24年
平年

２． 当場の作況

注）本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

１）秋まき小麦　　作　況：やや不良

事　由：５月下旬から６月上旬の平均気温が平年並であったため、前期に続き生育は順調に進み、出穂期は平年より４日早い６月７日であった。６月中旬の平均気温は平年より低かったため、出穂期以降の開花の進みは緩慢となっている。草丈は平年より高く、茎数は平年より少ない。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目		きたほなみ		
		本年	平年	比較
出穂期	(月.日)	6. 7	6.11	△4
草丈(cm)	(6 月 20 日)	98.4	88.9	9.5
茎数(本/㎡)	(6 月 20 日)	628	813	△185

注）「きたほなみ」の平年値は前７か年中、平成17年(最豊)、19年（最凶）を除く５か年の平均。

２）春まき小麦　　作　況：平年並

事　由：５月下旬から６月上旬は気温が平年並で、６月中旬は気温が低く経過したものの、草丈、茎数は平年並であった。前期までに生育が進んでいたことから、出穂期は平年よりも早まる見込みである。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目		春よ恋			はるきらり(参考)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm)	(6 月 20 日)	67.3	68.2	△ 0.9	70.8	66.9	3.9
茎数(本/㎡)	(6 月 20 日)	830	831	△ 1	804	858	△ 54

注）「春よ恋」の平年値は前７か年中、平成18年(最豊)、22年(最凶)を除く５か年の平均。
「はるきらり（参考）」の平年値は前５か年の平均。

３）とうもろこし　　　　作　況：平年並

事　由：播種期は平年より１日遅い５月18日で、出芽期は平年と同日の５月31日であった。出芽後は６月上旬の降水量が少なく、６月中旬の気温が平年より低く推移したため、草丈は平年をやや下回ったが、葉数は平年並であった。
　以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目		チベリウス		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.18	5.17	1
出芽期	(月.日)	5.31	5.31	0
草丈(cm)	(６月20日)	25.9	30.2	△4.3
葉数(枚)	(６月20日)	4.4	4.5	△0.1

注）平年値は前７か年中、平成19年（最豊）、21年（最凶）を除く５か年の平均。

４）大　豆　　　　作　況：やや不良

事　由：平年と同日の５月24日に播種を行った。播種後の６月第１半旬の気温がやや高かったため出芽期は平年より４日早かった。出芽後、６月中旬の平均気温が極めて低かったため、主茎長は平年よりやや短く、本葉数は平年より少ない。
　以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目		ユキホマレ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.24	5.24	0
出芽期	(月.日)	6. 5	6. 9	△　4
主茎長(cm)	(６月20日)	8.1	9.6	△1.5
本葉数(枚)	(６月20日)	0.4	0.7	△0.3

注）平年値は前７か年中、平成17年（最豊）、21年(最凶)を除く５か年の平均。

５）小　豆　　　　　　　　作　況：　やや不良

事　由：平年より１日遅い５月24日に播種を行った。播種後の６月第１半旬の気温がやや高かったため出芽期は平年より３日早かった。出芽後、６月中旬の平均気温が極めて低かったため、主茎長は平年よりやや短く、本葉数はやや少ない。
　以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目		サホロショウズ			エリモショウズ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.24	5.23	1	5.24	5.23	1
出芽期	(月.日)	6. 8	6.11	△3	6. 9	6.12	△3
主茎長(cm)	(６月20日)	3.0	3.3	△0.3	2.9	3.5	△0.6
本葉数(枚)	(６月20日)	0.2	0.4	△0.2	0.2	0.3	△0.1

注）平年値は前７か年中、平成19年(最凶)、20年（最豊）を除く５か年の平均。

６）菜　豆　　　　　　　　作　況：やや不良

事　由：平年より１日遅い５月24日に播種を行った。出芽期は平年より１日早かった。出芽後、６月中旬の平均気温が極めて低かったため、草丈は平年よりやや低く、本葉数は少ない。
　以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目		大正金時		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.24	5.23	1
出芽期	(月.日)	6. 7	6. 8	△1
草丈(cm)	(６月20日)	7.6	8.8	△1.2
本葉数(枚)	(６月20日)	0.3	0.7	△0.4

注）平年値は前７か年中、平成19年(最凶)、23年(最豊)を除く５か年の平均。

７）ばれいしょ　　　　　　作　況：やや不良

事　由：植え付けは平年より４日遅い５月18日に行った。植え付け後、気温は平年並みに推移したが、萌芽期は植え付けの遅れを反映して「男爵薯」、「コナフブキ」とも１日遅かった。その後の地上部の生育は、６月中旬の低温の影響で緩慢となり、茎数は平年並みであるが、茎長は「男爵薯」、「コナフブキ」とも平年をやや下回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目		男爵薯			コナフブキ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期	(月.日)	5.18	5.14	4	5.18	5.14	4
萌芽期	(月.日)	6. 4	6. 3	1	6. 6	6. 5	1
茎長(cm)	(６月 20 日)	13.8	16.1	△2.3	12.8	16.9	△4.1
茎数(本/株)	(６月 20 日)	3.8	3.6	0.2	2.8	2.9	△0.1

注）平年値は前７か年中、平成17（最豊）、22年（最凶）を除く５か年の平均

８）てんさい　　　　　　作　況：やや良

事　由：５月下旬および６月上旬の日照時間が長かったため順調に生育が進み、移植栽培では草丈、生葉数、茎葉重および根重が平年をやや上回っている。

以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

調査項目		移植						直播注２）		
		モノホマレ			アーベント			モノホマレ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm)	(６月20日)	25.9	25.7	0.2	27.6	25.4	2.2	13.4	13.3	0.1
生葉数(枚)	(６月20日)	12.4	11.1	1.3	12.0	10.7	1.3	7.5	5.8	1.7
茎葉重(g/個体)	(６月20日)	116	90	26	125	88	37	11	10	1
根重(g/個体)	(６月20日)	35	15	20	39	16	23	1	1	0

注１）平年値は前７か年中、平成17年（最豊）、22年（最凶）を除く５か年の平均。
　２）直播「モノホマレ」は欠株が多いため参考成績。

９）牧　草（チモシー）　　　　　作　況：平年並

事　由：６月５日の草丈は平年より18cm高かった。しかし６月中旬の気温が平年より極めて低く推移したため、一時的に生育の停滞が認められ、１番草の草丈は平年並に止まった。出穂始は平年より１日早い６月13日、出穂期は平年より３日早い６月17日であった。１番草の収穫は６月19日に行った。
　以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
出穂始	（月.日）	6.13	6.14	△　1
出穂期	（月.日）	6.17	6.20	△　3
出穂程度	１番草	8.0	6.2	1.8
刈取日	１番草	6.19	6.21	△　2
倒伏程度	１番草	1.0	2.5	△1.5
病害罹病程度	１番草	1.0	1.9	△0.9
草丈(cm)	（６月５日）	87	69	18
	１番草	100	105	△　5

注）平年値は前７か年中、平成18年（最豊）、21年（最凶）を除く５か年の平均。
倒伏程度および病害罹病程度は、１：無または微～９：甚。病害は主に斑点病。

１０）たまねぎ　　　　　作　況：平年並

事　由：５月下旬から６月上旬の平均気温は平年並で、降水量は平年より少なく、移植期が早い早生種「改良オホーツク１号」では、草丈および生葉数は平年並であり、葉鞘径は平年を上回っている。一方、移植期の遅い晩生種「スーパー北もみじ」では、草丈および生葉数は平年をやや下回っている。
　以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目		改良オホーツク１号			スーパー北もみじ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm)	(6月20日)	45.6	46.2	△0.6	27.8	34.8	△7.0
生葉数(枚)	(6月20日)	6.8	6.4	0.4	5.5	6.0	△0.5
葉鞘径(mm)	(6月20日)	13.2	11.0	2.2	9.0	8.9	0.1

注）平年値は前８か年中、平成17年（最豊）、20年（暴風雨被害により成績を参考扱いとしたもの）、22年（最凶）を除く５か年の平均。